

遠望僑声・KOBE

神戸華僑総会広報

2005
創刊号
JULY

発行／神戸華僑総会
編集／広報部
発行日／2005年7月25日

事務局：〒650-0011
神戸市中央区下山手通2-12-11
TEL／078-331-4232～3
FAX／078-334-2475
発行回数／春・秋 年2回



“温故知新” 未来への架け橋

写真 神戸華僑総会広報部

C
O
N
T
E
N
T
S

- p. 2 ▶ 創刊ごあいさつ
- p. 3 ▶ 世界華商大会／神戸華僑の歴史をたずねて
- p. 4 ▶ 僑友僑声 — 華僑・華人数珠繋ぎ —
- p. 5 ▶ 莘莘学子／留学生来日談
- p. 6 ▶ Information・私の声コーナー／お知らせ



Logo by Y.H

神戸華僑・華人の皆様へ

—新しい時代の変革を共に—

神戸華僑総会 会長

黄 耀 庭



僑・華人・留学生も入会しており理事として協力していただいている方も居ります。今後とも皆さんには本会が主催する年間行事や種々会合に積極的に参加し交流、懇親を深め団結を強めて頂き、本会の目的にあります『華僑の正当な權益を守り、親睦団結をはかり、中日友好の促進、地域社会の発展に寄与すること』をモットーに新しい時代の変革を共に進めようではありませんか。

今後広報紙を通じて皆さんの忌憚らないご意見、ご要望を聞いて、本会の運営に反映できれば幸いと思っております。皆さんのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

昨年4月から関西華僑報の紙面が縮小され、そのために神戸地区に居住する僑胞の皆さんに提供する情報が少なく、意思疎通に欠けてしまうと案じていました。この度、本会広報部から神戸華僑・華人社会に関する多角的な情報発信として広報紙を発行することになりました。つきましては本会に対し皆さんのご協力を頂くには本会の活動方針をお知らせして、ご理解を頂くことが先決ではないかと思ひます。

今期理事会の承認のもとに策定した華僑総会の活動方針は次の通りであります。『僑胞のための活動を積極的に実行し、活力ある会に引続き努力する』というテーマで、まず第一に総会活動の充実のため、後継者の育成と若年者の意識向上及び青年交流活動を積極的に行う。華僑報やローカル版等で広報活動を行い、総会への理解を深め、その支援協力を訴える。神戸華僑は新華僑・華人も一体であり、積極的に交流、懇親を深める。第二に財政の健全化であり

ます。華僑総会は皆さんの会費および寄付金により成り立っているとの理解と協力を求めている。新家庭の未入会者の勧誘をはじめ、会員の拡大に努める。第三に他団体との連携を強化するため、華僑団体、各同郷会、友好団体との交流及び懇談会を開催する。第四は祖国平和統一の早期実現を願い、努力する。

近年、華僑社会は新華僑の増加と華人化傾向、それに加えて若者の意識の多様化などで大きく変化しております。更に過去においては本会を拠り所にしまとまっていた私達華僑でありましたが、現在は平和な時代になり本会の存在感が薄れてまいりました。これに対して私達は意識の多様性を活力にしなければいけないと思ひます。私達の先人達が地域社会と信頼関係を築いてきた伝統ある華僑社会を引き継ぐことが私達の責務ではないでしょうか。

居住する国の国籍を取得した華人であっても、流れる血は同じく中華民族の血であります。本会には新華

創刊にあたり

—新たな華僑・華人社会を—

中華人民共和国駐大阪総領事館

総領事 邱 国 洪



神戸地域の華僑華人および中国人留学生向け広報紙の創刊にあたり、衷心よりお祝い申し上げます。

現在、日本には55万人以上の華僑華人がおり、神戸地域では日本生まれの二世から新世代に至る華僑華人と新華僑華人はどんどん増え、2万人以上を突破したと推測されています。こうした華僑華人社会を取り巻く情勢は喜ぶべきこともあれば憂慮すべきこともあり、いっそうの努力

を要請されることもたくさんあります。いかに新たな華僑華人社会を構築してゆくかが、われわれ華僑社会の直面する大きな課題といえるでしょう。

その一方、わが祖国では胡錦濤国家主席をはじめとする中央体制のもとにより実務的に改革路線を推進し、総合国力をアップした上で世界各国との協力関係を増進してまいります。注目される「兩岸関係」についてもこの間、連戦国民党主席と宋楚瑜親民党主席が相次いで大陸を訪問し、大成功を収めました。このことは兩岸の同胞の民意と世界の潮流に合致し、大陸と台湾、ひいては海外華僑にも広く歓迎されるに至っております。中日関係については困難な局面に直面しておりますが、両国はいず

れもアジア、世界に重要な影響をもつ国であり、二国関係の健全な発展は、中日両国のみならず、アジア地域の安定と発展にも大きく寄与することです。われわれは歴史を鑑として未来に向けて、中日友好協力関係を引き続き発展させなければなりません。華僑華人の皆さんのいっそうの努力と架け橋の役割にも大きく期待しております。

この度、神戸地域の華僑華人同胞の動向を伝える広報紙を創刊する運びとなりましたのはひとえに神戸華僑総会のご尽力の賜物であります。広報紙の発行が神戸地域の華僑華人の活動情報の交換や、連携の強固ならびに中日友好と相互理解の発信源となることを心より願ってやみませ

世界華商大会 2007年神戸開催に向けて I

神戸華僑総会理事 湛 沛 倫
日本中華総商會理事

* 2007年神戸開催の成功に向けて、今までの経緯と今後の動きを報告していきます。

はじめに

大会はシンガポール中華総商會によって最初に提案され組織された。これは全世界の海外華商と工商界の経済協力を増強するという役目と相互理解を深めるフォーラムを提供してきた。非政治的なフォーラムとして、その役目は華商の経済と文化的なテーマに適合するよう集中している。

【経緯】

■1991年8月10日～12日

第1回華商大会をシンガポールにて開催、30カ国75都市より800名が参加。

- 華商に関わる経済と社会文化をテーマに大会を2年1回の開催とする。
- 香港中華総商會とタイ中華総商會を主催団体として香港、バンコクにて第2回・3回世界華商大会開催を決定。

■1993年11月22日～24日

第2回華商大会を香港にて開催、香港と海外から約1000名参加。

- 世界経済発展の最新情勢と急激な変化をする経済環境の中で、華商がこれらに対し演じる役割を検討し、それ以外に、大会では華商間の経済と文化協力や交流の議題について研究。
- 第4回世界華商大会主催申請の手順について3項目の議案を承認。

1. “召集人組織をつくる”構成は過去に大会を主催した商會と主催が確定している商會とする。

2. 上述の“召集人組織”は大会休会期において一切の事項を処理する権利を有す、同時に第4回世界華商大会の申請資格と手続き方法を制定し、申請を受け付け及び主催者を決定する責務がある。

3. 毎回の主催商會を事務所と連絡所とする。

■1995年12月2日～5日

第3回世界華商大会をタイ中華総商會を主催者としバンコクにて開催、23カ国から約1500名参加。

- 大会終了後、第1・第2と第3回大会主催者（以下“召集人組織構成員”と称する）から構成された選挙委員会が第4回大会をバンクーバーにてカナダ中華総商會が主催を決定。

■1997年8月25日～28日

第4回世界華商大会をバンクーバーにてアジア以外で初めての大会。20カ国と地区から約1300名参加。

- 討議テーマ “電子通信と通信科学技

術がグローバルマーケットに対する影響”でこれは電子通信と通信科学技術がグローバルな華人ビジネスネットワークに対する影響を強め、世界華商人商業活動を促進する重要意義を表した。（次号へ続く）

財団法人三江会館、鎮江市へ

学用品援助、10,000ドル贈呈

さる2005年5月16日(月)より18日(水)、江蘇省鎮江市において、鎮江市海外交流協會成立10周年式典“相聚金山”が開催され財団法人三江會館姜成生理事長、馬文璧常務理事、陳五九常務理事3名参加しました。また5月18日に鎮江市京口区実践小学校で、鎮江市王萍副市長及び各領導出席のもと、第2回京口区窮困兒童の学用品援助基金として\$10,000-の捐贈儀式が行われました。



神戸 歴史をたずねて

神戸華僑 —開港から19世紀末まで— (1)

神戸華僑歴史博物館館長

藍 璞

1859年7月に開港した神奈川（横浜）、長崎、箱館（函館）など3港に遅れること8年数か月、1868年1月1日に神戸が開港した。同年2月には、長崎、横浜方面から10数名の中国人貿易商が神戸に移り住んだ。彼らが最初の神戸華僑だとされている。彼ら自営貿易商に続いて、欧米企業に所属する買弁及び買弁使用人、中国駐在の欧米企業の上級職員に中国で雇われ、雇い主の神戸転勤に伴い来神した、雇い主の家事をこなす労働者（メイド、お抱えコックなど）、洋服仕立て業者、理髪業者、製靴業者、塗装業者、印刷製本業者（西洋文房具販売もおこなった）など自営技術者ならびに彼らに雇われた職人などが、初期の神戸華僑社会の主だった構成員であった。この外、タリーマン（正式にはtally-clerk、荷役の検数員）も多数活躍していたし、屠豚業者（1894

年頃まで）、日本の警察権が及ばない外国人居留地の治安を維持する「居留地警察」の警官なども初期の神戸華僑が携わっていた職業である。少し意外なのは中国料理店で、資料に現れるのは1894年頃と、比較的遅かった。

神戸開港に先立ち、徳川幕府はアメリカ合衆国を始めとする欧米諸国と結んだ条約に従い、現在の大丸神戸店を起点とし、南へ海岸まで、東へ旧生田川（現在のフラワーロード）までの地域に道路や下水道などのインフラを整備して、「外国人居留地」を造成した。居留地に住んで営業活動することが許されたのは、幕府（開港後は明治政府）と条約を結んでいた諸国民に限られた。神戸開港当時、清朝政府と日本政府との間には条約が結ばれていなかったため、華僑のパイオニアたちは「無条約国民

として、居留地内に住んだり営業することはできず、居留地を東、西、北の三方から囲む「コの字」形の「雑居地」が彼らの居住と活動の場になった。

1871年に「清日修好条規」が締結されてからは、華僑の法的地位は「条約国民」となり、1878年に清国理事府（後に領事府と改称、領事館に相当）が設置される前後から神戸華僑の人口は増え続け、1870～1880年代には600名前後となり、1893年には1000名を超えた。1894年に中日甲午戦争（日本でいう「日清戦争」）が勃発すると、帰国する華僑が続出し、神戸の華僑人口は半減した。しかし、戦争が終結すると、帰国華僑が神戸に戻ってくるようになり、1895年には、ほぼ1893年のレベルにまで回復した。（次号へ続く）

僑友僑声

華僑・華人数珠繋ぎ

蔡旦伯さん

校友会会長

インタビュー・葉 慧 華僑総会理事



プロフィール・

1955年華僑三世で生まれる。小中学校中華同文卒、甲南大学にて理学部応用生物学科卒。現在校友会会長である。家業である中華料理店を引き継ぐが、阪神大震災を機に現在の「揚子江」という不動産を営む。

好きな言葉…希望(魯迅)

座右の銘…為善最樂 父の友人(関帝廟のお坊さん)

尊敬する人…父親、李萬之(中華同文学校名誉校長)

お気に入りの料理屋…広東料理「黄老」、定食屋「なかや」

家族構成…興さんと三人のお子さん(長女、次女、長男)

この企画については、神戸で生まれ育った身近に活躍している華僑・華人の方にスポットを当て、対談形式で今までの経験、これからの華僑・華人のライフワークなどを様々な形でお聞きし、皆様にお伝えしたいとの思いで企画いたしました。

—まず、校友会の会長をされているのですが、その経緯と校友会自体の以前と現在の活動はどのようなものですか？

蔡旦伯さん(以下蔡)：経緯というものではなく、自然な流れで盧国威先輩から受け継ぎました。

僕が学校に在学中の1960年代、校友会はとても活発に活動していました。学校で色々と催し物がありました、野火大会(キャンプファイヤー)とかね。校友会との接触が多かったし、校友会を訪ねていけば、卓球などを教えてもらったりしていました。その他にも文化会もありましたよ。(中華)同文新聞と言いますが、同文通迅を発行したりしていたのですよ。他にも囲碁とかね。

このように「校友会」が活発に活動していた時期もあったのですが、10年間か20年間ぐらい活動が休止状態の時期が有りまして、そのあと1980年頃から呉健行さんが活動を再開させて、名簿・会報などを作り始めた。

自分自身も「校友会」の活動に対して知らなかった。代表幹事でもなかったが呼びかけが急にあり、それは名簿を作るから手を貸して欲しい、誰かがやらないと進まないからという内容でした。その電話が1990年ごろのはなしです。

—ではなぜ、校友会も含めて、華僑の各団体が活発に活動してないと思われませんか？

蔡：まず今は時代が違うと思います。以前華僑社会は団結をしないと仕事・生活が出来なかった。商売をするにあたって、銀行から融資してもらえなかった、頼母子を組んだりして、あらゆる事で団結しないと出来なかったんです。なぜかと言えば、日本社会の圧力が華僑社会に対し強かったからで、しかし今はその圧力が一見無くなりつつ有る、そこで外からの圧力等があるときには、民族意識が高揚し求心力につながるのです。したがって今は集まり難い状態であると思います。〈次回も御期待下さい。〉

僑友 in 上海

金 鋭さん

上海創価諮詢有限公司副董事長

—金さんが中国でお仕事をするきっかけ、動機を教えてください。

金鋭さん(以下金)：きっかけはリクルートで中国プロジェクトに配属された事が発端ですかね。当時リクルートは海外事業にそれほど積極的ではなく、いくつか提携事業をしていたぐらいで、幾つか失敗例もありましたから。あと当時は会社自体の借入金が多く、新規事業よりも本体の体制強化が主だったと言えますね。そんな中、当時株主であるダイエーが天津に出店計画が持ち上がり、そ

の支援の一環としてリクルートも人員を編成するということになりました。これを切っ掛けに中国への事業展開を模索することに。また私自身の異動を役員に志願しまして、このプロジェクトの2年目にFSとして参加しました。以上が中国へ仕事として関わった切っ掛けです。

動機に関しては、子供の頃から、事業家・経営者に成りたいとの強い思いはありましたね。同時に海外で起こしたいとも。華僑で中国語のアドバンテージがありましたから、リクルートに入社してからも、中国で仕事が出来ればと思いました。独立心もやはりその当時からあったというのも正直ありましたからね。それが現在に至ったと思います。

〈次号へ続く〉



プロフィール・

1967年4月1日生まれ。

日本生まれ日本育ちの華僑第3世。中華同文学校を卒業。

1984年私立甲南大学経営学部入学。学生時代は体育会アメリカンフットボール部副将として活躍。大会で最優秀選手(MVP)を獲得。1988年同校卒業。

1989年株式会社リクルート入社、数々のプロジェクトに取り組み、98年に人材ビジネスにおける競合他社の情報収集中に上海創価諮詢有限公司の孫立平と出会う。1999年上海創価諮詢有限公司の共同経営者として経営参加し現在に至る。

現在7万7千人にのぼる中国人留学生が日本で勉強していると言われている。これは専門学校や大学、大学院に在籍の人数で、日本語学校にいる就学生を含めると、中国からの留学生は11万人ほどになるだろう。これは5年前の日本での留学生の数の2倍近くに増えている。しかし、一方、近年日本の経済が不況に陥り、日本が留学生の10万人受け入れ計画を実施した後、環境整備ができていないという事態を認識し、今は「量より質」を重視し始める動きが出てきた。

今日私たちがこの11万人の一人として日本に来て、悪戦苦闘と努力している。しかし、こんな数多くの留学生も全部が優秀であるとは言えない。いろんな事件を起こしている留学生もいる。でもこれをもって何のために来るかと疑問を持たれたとしたら、これはちょっと残念である。日本の先進技術を勉強するための留学や、また夢を求めて来た。本当に私たちの大部分もやはり老華僑と同じく、中国人としての誇りを持ち、これからも日本での中国人のイメージアップに努めたいと思っている。どんなに生活が苦しくても、どんな

に難しい社会環境にあっても、信念を持って、頑張っている私たちがいる。ここであえて老華僑たちに言わせてほしいのは、もし頑張っていない留学生を見たら、自分の子供のように叱ってあげてください。あなたたちは私たちの大先輩であり、そうする権利があり、また責任もある。私たちは中国の未来の担い手として、また老華僑たちの期待に応えられるように頑張りたいと思っている。

今後ともどうか温かく見守ってください。

神戸地区中国人留学生学友会

2005年度 会長交代

2005年4月に神戸地区中国人留学生学友会の会長交代が順調に行われました。2003年、2004年で2年間会長としてやってきた私、方萍（神戸大学）から同大学の王松

さんに交代し、新しいメンバーもたくさん入り、引き続き民間大使と中日の架け橋、留学生の役割を果たしたいと王松さんが新入生歓迎会の時に皆さんに熱く語っていました。

留学生による留学生を応援するボランティア団体の学友会が今年で21年目に入り、在神戸留学生が増えるにつれ、少しずつ組織作りや、もっとたくさんの留学生が参加できる有益な活動を企画しようと努力し活動しています。これからもどうぞ留学生を温かく見守って下さい。

※このコーナーでは、留学生や元留学生達の来日談を連載しています。まず初回の感想文は、中国から来日し就学生として通っていた神戸住吉日本学校での「卒業記念文集」の中から一つを選び、日本に来て1～2年間の学生の気持ちを、皆さんに披露したい。

* * * * *

私の理想が一つ実現した

「光陰矢の如し」、いつの間にか、私は日本に来てもう1年半になる。この期間に色々ことを経験した。楽しかったり、悲しかったり、事々に私の脳の奥に深く残っている。

思い出すと、日本に来たばかりの頃は何も知らなかった。日本の習慣や、生活や勉強など全然分からなかった。けれども、私は他の学生より幸福である。それは私の親戚が日本にいるからだ。何かあったら、親戚が助けてくれた。私は親戚と一緒に暮らし、とても楽しかった。親戚にいろいろお世話になった。最初、私の

ために毎日故郷の料理を作ってくれた。段々日本の料理に慣れ、日本の寿司やカレーやお好み焼きなど大変美味しい。あの美味しさは絶対忘れられない。それ以外、学校の生活も面白かった。

日本語学校では色々な国の人がいる。私は学校で中国人だけではなく、韓国人やベトナムなどたくさん人と友達になり、とても楽しかった。学校の先生も優しくて真面目だ。授業中どの国の人にも優しくて一生懸命教えてくれる。もし、学生達に質問があれば、授業が終わっても、何回

陳 小 娟

親和女子大学福祉学科



でも教えてくれる。私は本当に尊敬している。勉強は楽しかったが、非常に難しかった。私がなかなか上手にならなかった。幸いに私が大学に合格した。本当に良かった。私の理想が一つ実現し、それは一番嬉しかった事だ。しかし、問題もある。日本の大学の学費が高すぎるからだ。これからは、私もちゃんとアルバイトをするつもりだ。アルバイト先で日本人の友達もでき、皆優しい。

日本に来て良かったと思っている。

Information・私の声コーナー

このコーナーは神戸華僑各団体、華僑総会所属グループの活動や会員の声を紹介しますので、おたよりをください。

舞獅隊

1979年神戸在住の華僑青年が中心となって結成、隊員20余名。小学生から社会人と幅広く華僑社会のみならず、日本社会との文化交流にと活躍中。



華芸

華芸民間舞蹈隊。1974年神戸在住の華僑2・3世で結成された中国舞蹈グループ。神戸華僑総会華芸民間舞蹈隊として日本社会にも活躍中。



華薈

1994年、中国民族楽器団「華薈」を神戸中華同文学校の卒業生で結成。中国民族楽器、音楽の魅力を覚え、中国民族音楽のすばらしさを知って頂くため、各地で活躍中。



太極拳

1980年代神戸華僑総会太極拳講習会、心身の和・健康を求めて、年齢を問わず各自の体調に合わせて無理なく出来る健康法として多くの人に親しまれている。講習日は月・水曜日午後6時30分～8時、水曜日午前10時～11時30分、木曜日午後6時30分～8時



■(社)福建同郷会

普度勝会(施餓鬼)開く

・場所 関帝廟

8/18 (木) 前夜祭
8/19~8/21 (金) 本祭
8/22 (月) 散菜

■(社)中華会館 **第7回賞月会開く**

・日時 9月17日(土) PM17:00(予定)

・場所 関帝廟

■神戸華僑業余文化展生活展(生花・書道・絵画・陶芸など)

・日時 10月12日～16日(予定)

・場所 (社)中華会館7F 東亜ホール

■講演会「中国江南地方の住まいと暮らし」

・日時 8月20日(土) PM13:30～17:00

・場所 中華会館6F

・講師 馬文壁氏 (三江会館理事・中華会館副理事長)

主催/大阪府建築士会 企画/国際委員会

後援/(財)三江会館 NPO法人国際音楽協会

神戸中国語学院

神戸中国語学院には入門クラス、初級クラス、中級クラス、研修クラス、総合クラス、一般通訳クラス、会議通訳クラスの7クラスを開校。10月から2005年度秋のクラスを開校。

混声コーラス

混声コーラスを一緒に楽しみませんか!! 神戸華僑混声コーラス、新年団拝、国慶節など華僑総会の行事に出演。毎月第3土曜日午後7時30分～9時30分まで4階ホールで練習。

TAISHIN

大信実業株式会社

〒650-0011 神戸市中央区下山手通3丁目1番13号
日新ビル8F

TEL 078-331-7944 FAX 078-331-2430

利用者募集!

7階東亜ホール(客席数180名) 貸しホール

6階第1会議室(客席数18名) 貸し会議室

6階第2会議室(客席数30名) 貸し会議室

*くわしい詳細は、中華会館6階事務局又はホームページで

(社)中華会館 TEL 078-392-2711
<http://www.zhonghua-huiguan.com>

不動産賃貸・管理

中央実業株式会社

〒650-0024 神戸市中央区海岸通3丁目1番1号
神戸中華総商会ビル9階

TEL:078(392)0241 FAX:078(392)0295



財団法人 三江会館

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1-12
三江会館ビル2階

TEL (078) 371-8623 FAX (078) 371-8624

編集後記

- 〈遠望僑声〉の題字は金超先生に書いて頂きました。ネーミングについて、話さなければ何事も始まらない。逆に何もせず何も考えなければ、話す言葉も何も無い。落地生根に入った感のある華僑社会、一体皆はどう捉えているのか。前代から受け継がれるもの、遠くを見る目で中国を、そして未来へとつながる。そんな神戸華僑社会にまつわる事柄をひとりでも多くの僑友に発信し、共感を分かち合い連帯につながればと願っている。(林 青彦)
- 急にお声が掛かり、戸惑いながら取り組みました。若者?の視点で、神戸の華僑に密着した記事を作って行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。(葉 慧)
- 元々留学生の自分が何か力になることがあればいいなと広報部に入りましたが、今振り返って見ると、自分の方が得るものが多い。楽しかったです。ありがとう。また、一緒に頑張りましょう。(方 萍)

華僑総会からのお知らせ

- ・平素から神戸華僑総会の活動に対しまして会員の皆様よりご支援とご協力を賜り、職員一同心より感謝しております。

また、会員の皆様には年に一度又は半年に一度会費の納入をお願いしております。

今後の行事案内

10月1日(土) 国慶節56周年記念祝賀晩会

午後6時、第一楼においてを開催致しますので、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

会費 お一人様 6000円

(高校生以下幼児含むは4000円にて優待)